資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応

2025年6月27日

レンゴー株式会社
（証券コード：3941）

本文書に含まれる情報の全部又は一部を無断で複製、転載することはご遠慮ください。
© 2025 Rengo Co., Ltd. All rights reserved.

Index

1 現状認識
1. 時価評価と資本コスト ―― 3
2. 財務指標の推移と課題 ―― 4
2 中期ビジョン
1. 「Vision120」の意義と長期的な展望 ―― 5
2. キャッシュ・アロケーション ―― 6
3 配当政策と対話
配当政策ならびにステークホルダーとの対話の方針 ―― 7

時価評価と資本コスト

- 当社は、最新のβ値（対象期間＝2020年4月～2025年3月）を基に、CAPM（資本資産価格モデル）を用いて株主資本コストを計算しました。
- ROEが株主資本コストを上回る状況を維持しつつ、さらなる成長と収益性の向上を目指しています。資本市場の期待に応えるため、引き続き努力してまいります。

時価評価と株主資本コスト（2025年3月期ベース）

時価総額	1,963 億円
株価	792 円
純資産	5,002 億円
PBR	0.4 倍
ROE	6.5 %
株主資本コスト*	4.4 %

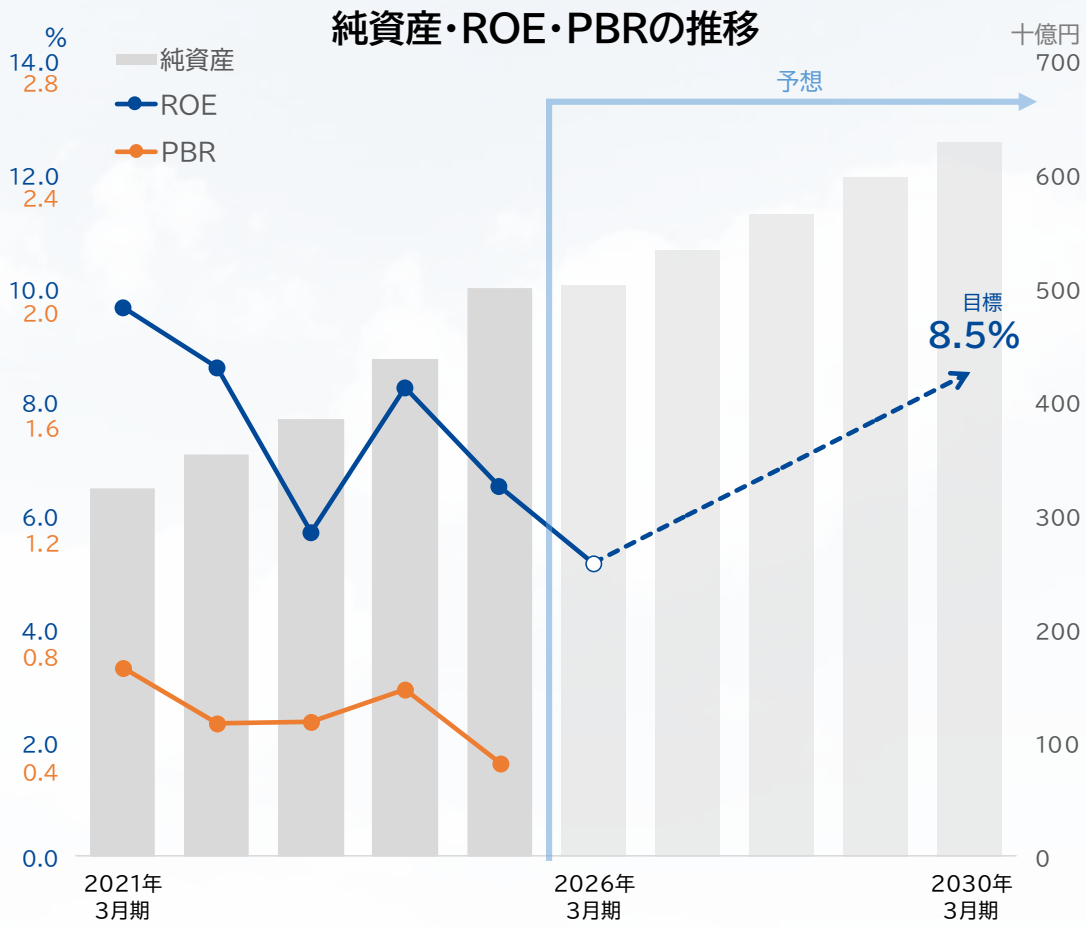
*** 株主資本コストの計算（CAPMに基づく）**

1.50		0.55（注1）		5.27（注2）		4.39
リスクフリーレート	＋	ベータ（β）	×	リスクプレミアム	＝	株主資本コスト
無リスク資産の金利 （10年国債利回りを設定）		TOPIXに対する当社株価の感応度 （過去5年実績から算出）		リスク資産（株式）投資に対する超過収益率 （株式市場全体のリターンを考慮）		

（注1）Blume修正値
（注2）典拠：Damodaran’s Equity Risk Premium（January 2025）

財務指標の推移と課題

- 当社グループは、長期的な視点で競争力を高め、持続的な成長を実現するためのステップを着実に重ねてきました。今後は、資本増強に見合った利益成長を達成するため、収益性の向上と安定を実現することが重要な課題です。
- この認識のもと、当社は2030年3月期を最終年度とする中期ビジョン「Vision120」を策定し、ROE目標を8.5%に設定しました。
- 事業活動を通じて利益成長を図り、将来の安定につながる収益基盤の強化を進めることで、中長期的に収益性の向上と安定を実現し、企業価値の向上を目指してまいります。



「Vision120」の詳細へのリンク → https://www.rengo.co.jp/financial/img/pdf/vision120.pdf

「Vision120」の意義と長期的な展望

2025年4月～2030年3月

Vision 120

2030年3月期 主な財務指標

売上高	営業利益	経常利益
12,000億円	700億円	720億円
EBITDA	**ROE**	**D/Eレシオ**
1,350億円	8.5%	0.7倍

CREATING THE FUTURE THROUGH PACKAGING

包装で未来を創る

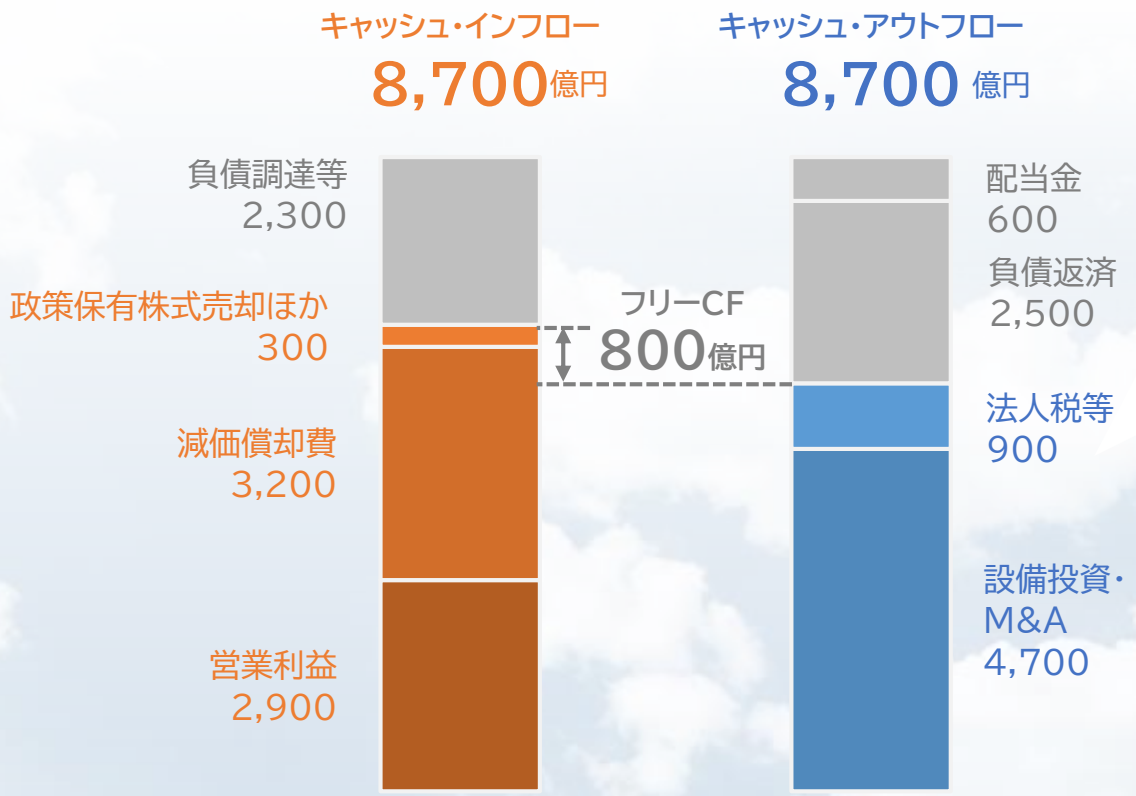
2050年の未来にも新たな価値、より大きな価値を提供し続けられるように、創業から120年目となる2030年までの5カ年をその基礎固めの期間と捉え、より強固な価値創出基盤の確立に向けて、グループ一丸となって邁進してまいります。

キャッシュ・アロケーション

ビジョンの期間累計(2026/3期～2030/3期)では、フリー・キャッシュフローを800億円(売上高累計5.4兆円、FCFマージン1.5%)とする計画です。設備投資・M&Aについては、基盤投資に55%のほか、サステナビリティ投資に10%、成長投資に20%、移転・リニューアルに15%を配分する方針です。また、2030年3月期末時点における配当性向30%に向けた累進的な配当を行うとともに、政策保有株式については純資産比10%未満を目指し売却を進めます。

5カ年累計でのキャッシュ・インフローとアウトフロー

2026/3 - 2030/3

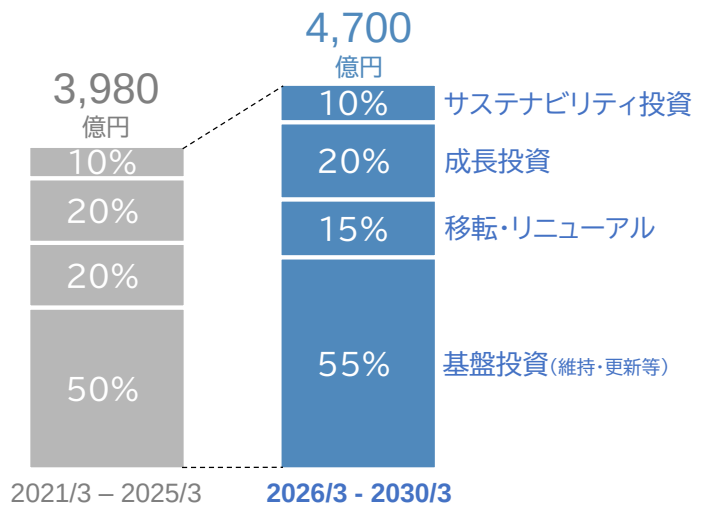


キャッシュ・アロケーションの方針

剰余金の配当
利益成長にあわせた増配を目指す累進的な配当
配当性向 **30%**
(2030/3期末時点)

政策保有株式の売却
純資産比 **10%**未満を目指す
(2030/3期末時点)

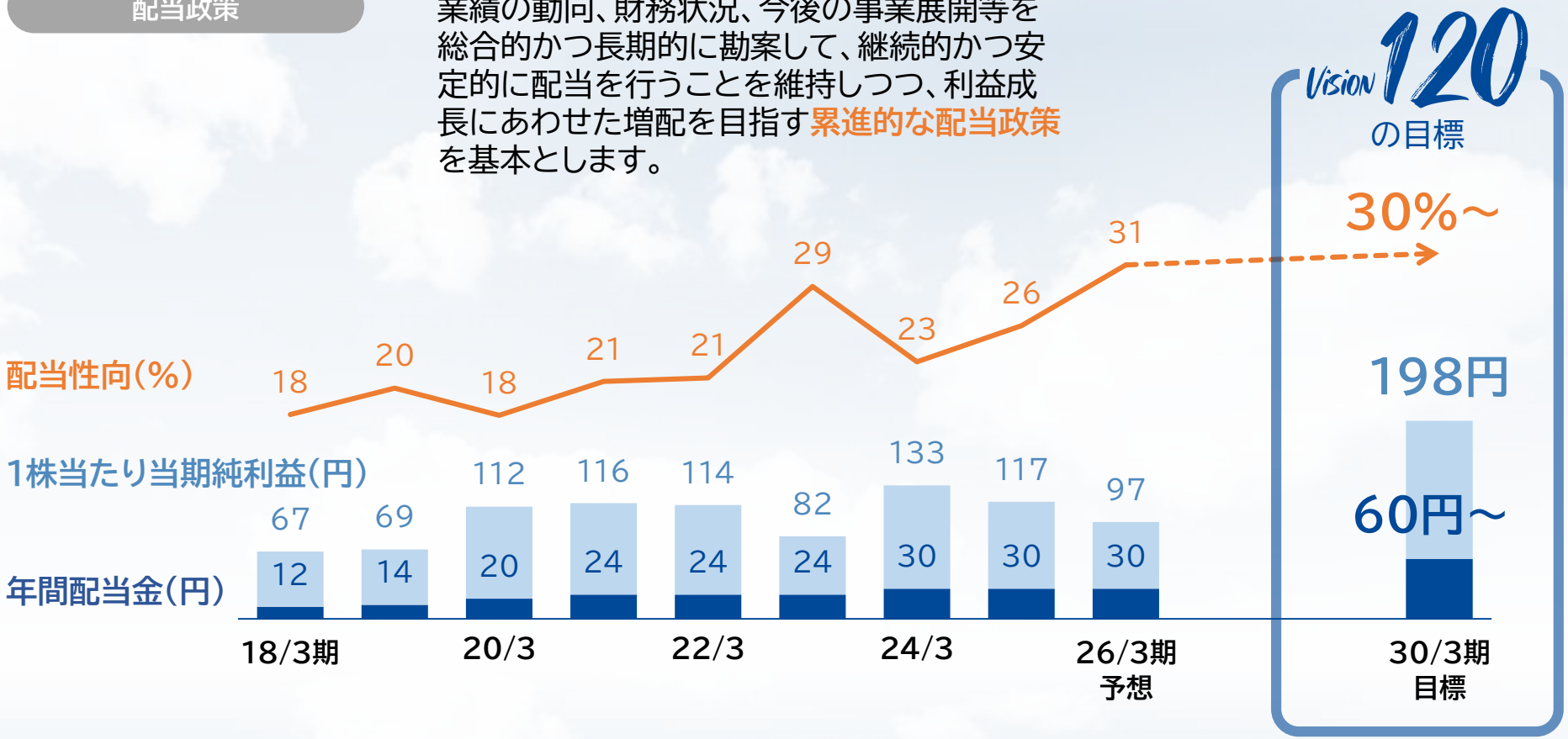
設備投資・M&Aの内訳 直近5カ年累計との比較



配当政策ならびにステークホルダーとの対話の方針

配当政策

業績の動向、財務状況、今後の事業展開等を総合的かつ長期的に勘案して、継続的かつ安定的に配当を行うことを維持しつつ、利益成長にあわせた増配を目指す**累進的な配当政策**を基本とします。



対話の方針

ステークホルダーとの**建設的な対話**を通じ、持続可能な企業価値向上に取り組みます。

レンゴー株式会社

530-0005 大阪市北区中之島2-2-7 中之島セントラルタワー
https://www.rengo.co.jp

免責事項

本資料に含まれる事業戦略や業績予想等に関する内容については、現時点で知りうる情報をもとに構築されたものです。
記載された業績予想数値等は、将来の計画に関して実現を保証するものではありません。

本文書に含まれる情報の全部又は一部を無断で複製、転載することはご遠慮ください。
© 2025 Rengo Co., Ltd. All rights reserved.